



Translation of Japanese laid-open utility model publication
No.53-89075

LIGHTING APPARATUS

What is claimed is:

A lighting apparatus comprising: an apparatus body consisting of a dish-like base having a peripheral wall in which a pair of notches are formed to be opposite to each other and a cover to be placed over the base; and a ballast and a wiring block that are housed in the apparatus body, wherein the wiring block includes: a case to be housed in the base with an end face thereof contacting an inner face of the peripheral wall; a protrusion protruding from the end face of the case to be received in the notch; required components including a switch and a starter socket that are mounted in the case; and a cord led out through the protrusion to be connected to a discharge lamp.

公開実用 昭和53— 89075



(3,000円)

実用新案登録願(|)

昭和 51 年 12 月 22 日 商

特許庁長官 殿

1. 考案の名称

シロマイキダ
照 明 器 具

2. 考案者

カワサキシヤワイクホリカソチヨウ パンチ
 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地
 トウシバデンザイ ホリカソチヨウジギョウウナイ
 東芝電材株式会社 堀川町事業場内

キムラトモリ
木 村 友 紀

(ほか 8 名)

3. 実用新案登録出願人

トウシバデンザイ
 東京都港区芝浦1丁目1番48号
 東芝電材株式会社
 代表者 佐藤 大

4. 代理人

東京都大田区西蒲田7丁目50番3号 田村ビル3階
 〒 144 電 話 03 (738) - 9771 (代表)

(6694)

弁理士

小

富

幸

51 172104

53.87075

BEST AVAILABLE COPY

特許
公報

明 細 書

1. 考案の名称 照 明 器 具

2. 実用新案登録請求の範囲

周側壁を有し、この周側壁に互いに対向して対をなす切欠部を形成してなる皿状の基体およびこの基体に覆合する蓋体からなる器具本体と、この器具本体に収納された安定器および配線ブロックとを具備し、上記配線ブロックは端面が上記周側壁の内面に内接して上記基体に収納されるケースと、このケースの端面に突設され上記切欠部に嵌合する突出部と、上記ケースに装置されたスイッチおよび点灯管ソケットを含む所要部品と、上記突出部から導出され放電灯に接続するコードとを含んでなることを特徴とする照明器具。

3. 考案の詳細な説明

この考案は家庭等で用いるたとえば環状蛍光灯用の照明器具に関するものである。

従来、この種の照明器具としては一方の基体に安定器、スイッチ、点灯管ソケット等を取り付け、これらの部品とランプソケットとの間を結ぶコー

(1)

53.89075

BEST AVAILABLE COPY

ドを、下面を覆う板体に設けた貫通孔を通じて導出するようにしたものが知られている。

しかし、このような構造の照明器具は全体として見た場合に部品相互の配列が雑然としておりとともに、基体に対する各部品の取り付けあるいはランプソケットのコードを貫通孔を通じて導出する作業に手数を要する欠点があつた。さらに前記コードの保護並びに充電部の露出を防止するため前記貫通孔にブッシングを施さねばならないなど構造を複雑化するとともに組み立てを面倒にする難点があつた。

この考案はこれらの問題点を解決するためのもので、スイッチおよび点灯管ソケットを含む所要部品を配線ブロック内に収納し、この配線ブロックのケースを基体の周側壁に内接させるとともにこのケースの端面から基体の切欠部に嵌合する突出部を形成しこの突出部からコードを導出する構成をとることにより、部品相互の配列を整然とし基体に対する配線ブロックの位置決め、コードの保護並びに導出を容易に行ない得るとともに全体

として組み立ての容易な照明器具を提供しようとするものである。

以下図面を参照してこの考案の一実施例を説明する。まず全体を符号1で示す配線ブロックから説明すれば、第1図(a)(b)に示すように比較的細長い直方体状のケース2内に図示しないスイッチ、点灯管ソケット3a,3b常夜灯ソケット4を含む所要部品を収納し、このケース2の端面より突出部5a,5bを突設し、この突出部5a,5bからそれぞれコード6a,6bを導出してこれらをランプソケット7a,7bに接続する。この突出部5a,5bは弾力性を有する絶縁材料であることが望ましい。なお、点灯管ソケット3a,3b、常夜灯ソケット4は第1図(a)のようにそれぞれケース2の下側面に設けた透孔より外部に臨まして設ける。同図において8は上記スイッチ操作作用のつまみである。

また第1図(b)に示すように、ケース2の上側面には凹部9内に電源接続用の端子10を設けるとともに安定器に接続するための端子11を所要数突設する。

次に第2図に示すように、周隔壁12を有する皿状の基体13を用意し、周隔壁12に互に対向して対をなす切欠部14a, 14bを形成する。また基体13の底板には前記配線ブロック1のスイッチ、点灯管ソケット3a, 3b、常夜灯ソケット4に対応する位置に透孔15を形成しておく。この基体13は後述する蓋体とともに器具本体を構成するものである。

この基体13に対して第2図に示すように配線ブロック1を配置し、さらにこのブロック1の端面が周隔壁12に内接しかつ突出部5a, 5bを切欠部4a, 4bに嵌合させて第8図のように固定する。このようにすると、コード6a, 6bは必然的に切欠部14a, 14bの位置を通じて無理なく外部に導出される。

次に基体13の底板上に配線ブロック1を挟んで安定器16a, 16bを固着し、これらの安定器16a, 16bと端子11とを導体17により接続する。さらに基体13の上方に皿状をなした蓋体18を覆合して突出部5a, 5bを基体13との間に挟持させ、この蓋体18に設けた角形の透孔19を通じてプラグ付ソケット20を前記端子10に結合する。

第4図は以上の経過により組み立てを終了したこの照明器具全体の外観を示す斜視図である。

この考案の照明器具は、スイッチおよび点灯管ソケットを含む所要部品を配線ブロック内に収納し、これを安定器とともに皿状の基体に装着して蓋体により覆うものであるから、部品相互の関係が整然と整理された状態となる。

しかもこの配線ブロックは端面が基体の切欠部に内接しかつ突出部を切欠部に嵌合させて固定するものであるから、基体に対する配線ブロックの位置決めが自然にでき、組み立てが容易な特長がある。

またこの照明器具において、スイッチおよび点灯管ソケットを含む所要部品は配線ブロックのケースによつて充分保護されるとともに、コード6a, 6bもまた切欠部14a, 14b内において突出部5a, 5bによつて包囲された状態にあるので充分に保護され損傷するおそれが少ない。

さらにこのコード6a, 6bは突出部5a, 5bを切欠部14a, 14bに嵌合させることにより、必然的に無

理なく外部に導出することができる。

以上述べたようにこの考案によれば、部品相互の配列を整然として基体に対する配線ブロックの位置決め、コードの保護並びに導出を容易に行ない得るとともに全体として組み立ての容易な照明器具を提供することができる。

なお、この考案は上記実施例のみに限定されるものではなく要旨を変更しない範囲において種々変形して実施することができる。

たとえば上記実施例に^は突出部 5a, 5b を器体 13 に^は対し蓋体 18 によつて挟持するもの^はを示しているがこの考案は必らずしもこれのみに限定されるものではない。

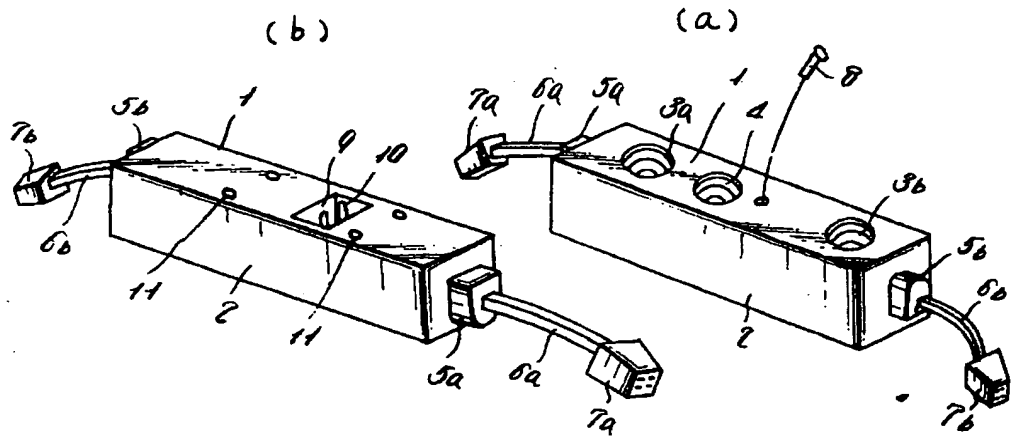
4. 図面の簡単な説明

第 1 図はこの考案の一実施例に用いる配線ブロックを示すもので、(a)は上部より見た斜視図、(b)は下側面を上にして示した斜視図である。第 2 図は同実施例における配線ブロックと皿状の基体との配置関係を示す斜視図、第 3 図は第 2 図の構成にさらに蓋体およびプラグ付ソケットを加えた分

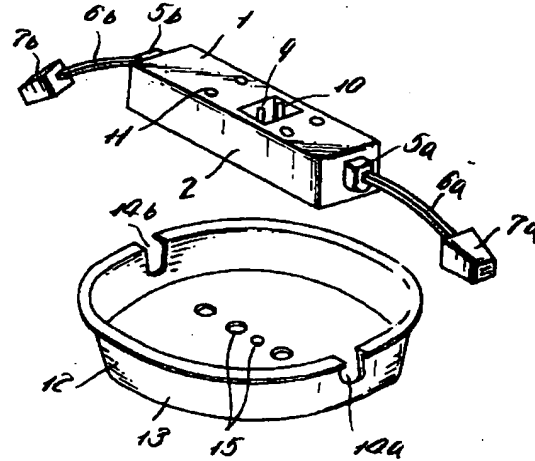
解斜視図、第4図はこの考案の一実施例の外観を示す斜視図である。

- | | | | | | |
|--------|------|----------|----------|------|----------|
| 1 | | 配線ブロック, | 2 | | ケース |
| 3a, 3b | | 点灯管ソケット, | 4 | | 常夜灯ソケット |
| 5a, 5b | | 突出部, | 6a, 6b | | コード |
| 7a, 7b | | ランプソケット, | 8 | | つまみ |
| 9 | | 凹部, | 10 | | 端子 |
| 11 | | 端子, | 12 | | 周隔壁 |
| 13 | | 基体, | 14a, 14b | | 切欠部 |
| 15 | | 透孔, | 16a, 16b | | 安定器 |
| 17 | | 導体, | 18 | | 蓋体 |
| 19 | | 透孔, | 20 | | プラグ付ソケット |

第1図



第2図

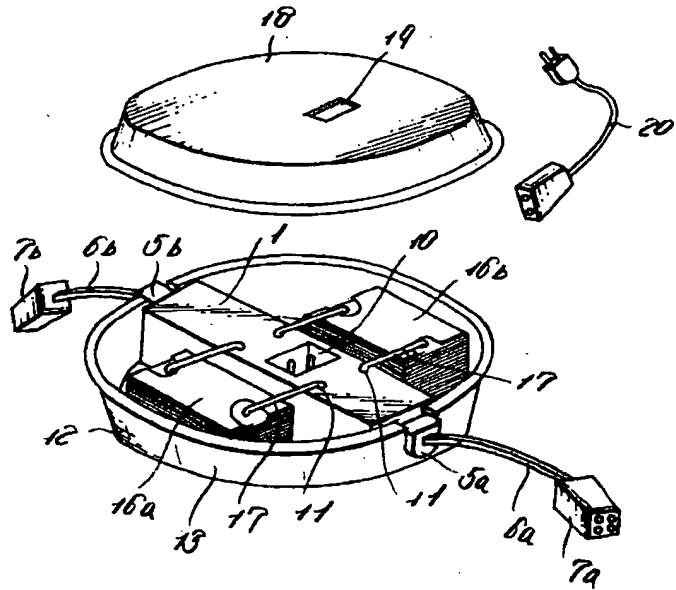


BEST AVAILABLE COPY

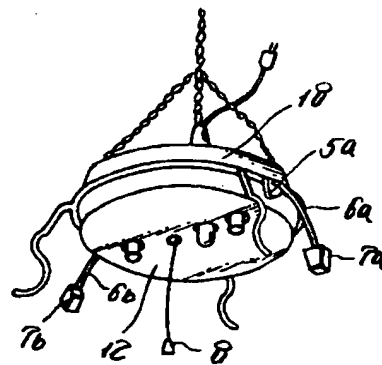
出願人 東芝電材株式会社 外1名
代理人 弁理士 小 宮 幸

24768009 1/2

第 3 図



第 4 図



BEST AVAILABLE COPY

出願人 東芝電材株式会社 外
代理人 弁理士 小 宮 幸 一

21763009 7/2

5. 添付書類の目録

- | | |
|----------|-----|
| (1) 委任状 | 1 通 |
| (2) 明細書 | 1 通 |
| (3) 図面 | 1 通 |
| (4) 願書副本 | 1 通 |

6. 前記以外の考案者、実用新案登録出願人または代理人

- (1) 考案者 カワサキセイワイクホリコソチニウ パシダ
 神奈川県横浜市幸区堀川町72番地
トウシバデニヤイ ホルツナヨウジキヨウジキニヤイ
 東芝電材株式会社 堀川町事業場内

ヒラ イ アヤフ
 平 井 明

同所 ヤ ハ トシ スケ
 八 幡 俊 祐

グニマクニマフバシマフバシマ
 群馬県前橋市吉市町180
トウシバデニヤイ ホルツナヨウジキヨウジキニヤイ
 東芝電気器具株式会社前橋工場内

アヲ イ ヤシ
 荒 井 清

(2) 実用新案登録出願人

東京都港区新橋8丁目8番9号

(346) 東芝電気器具株式会社

代表者 岩 井 虎 三

(3) 代理人

東京都港区芝西久保桜川町8番地 第17森ビル

(5847) 弁護士 鈴 江 武 彦

EDOKA

53.89075